

キヤノン サイエンスペーパークラフト 豆知識ブック

自然の科学シリーズ

日時計

日時計は古代エジプトですでに使われていたともいわれています。日時計には多くの種類があり、このペーパークラフトは「コマ型」と呼ばれるもので、春分と秋分を境とする太陽の軌道に合わせて、日時計の目盛りが表と裏にあるのが特徴です。



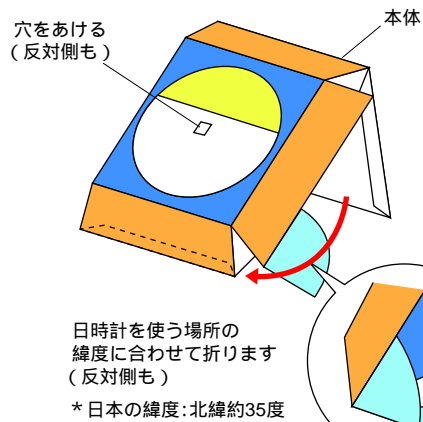
\*上の枠を切り抜きましょう。他のペーパークラフトのページも集めると、豆知識ブックが出来ます。

### つくりかた

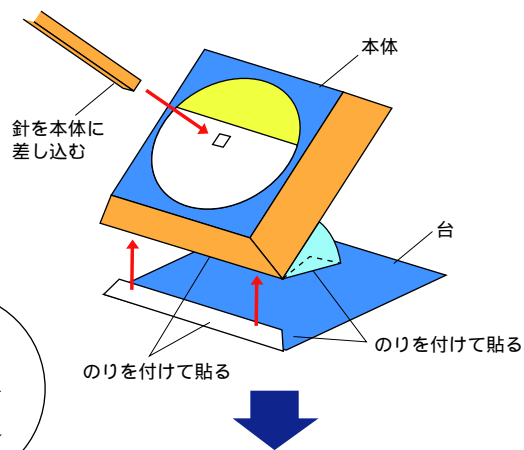
1枚目と2枚目をプリントアウトして、各パーツを切取線で切り抜き、山折線と谷折線を折ります。

#### 1. 本体つくる

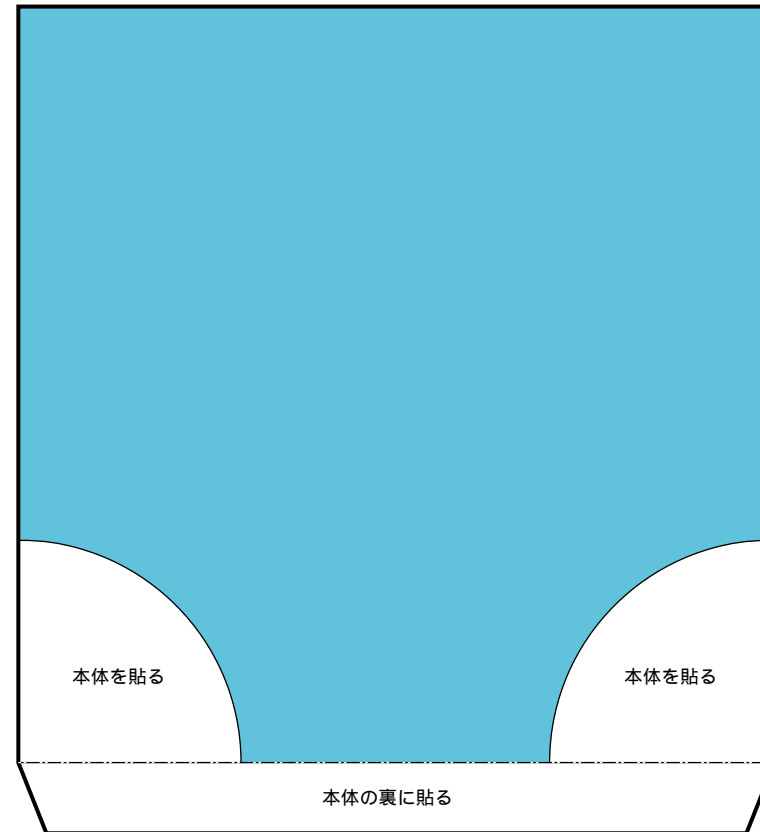
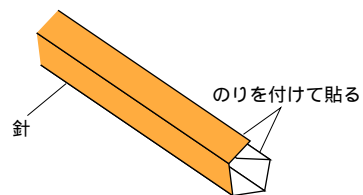
図のように箱を作ります。



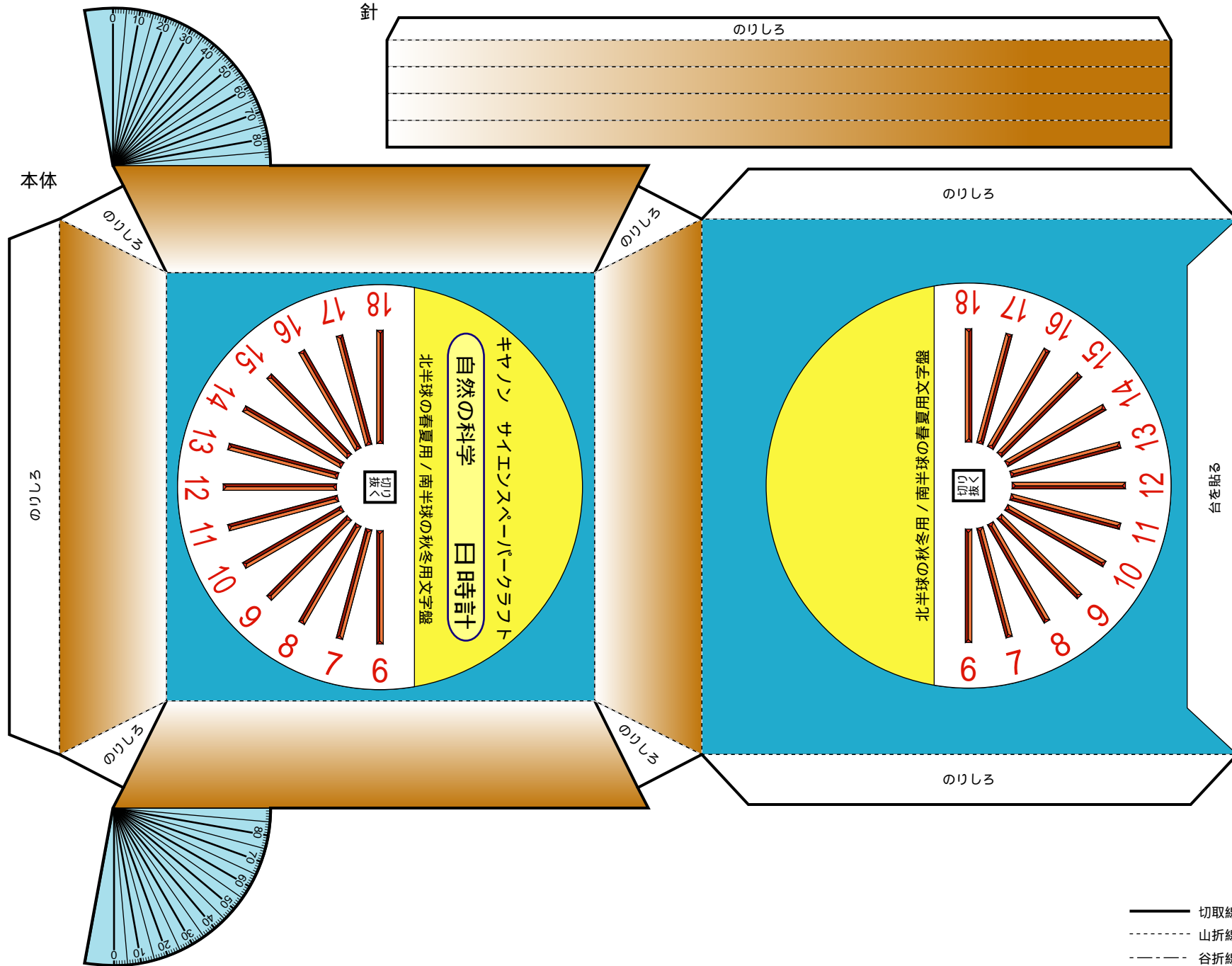
#### 3. 全体の組み立て



#### 2. 針つくる



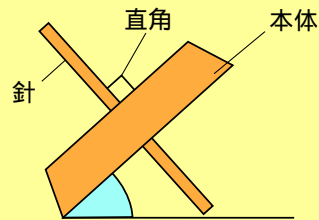
—— 切取線  
----- 山折線



- 切取線
- - - 山折線
- · - 谷折線

## 日時計のつかいかた

1. 針が文字盤に直角になっているか計ります。

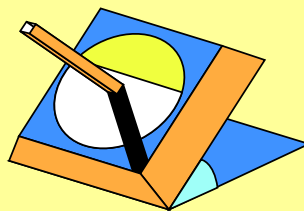


2. 一日中日当たりのよい場所に日時計を置き、方位磁石などを使って針を正確に北の方角に向けます。



\*注意: 観測する場所の緯度により方位磁石の偏角が異なります。

3. 文字盤上の針の影と重なる数字が現在の時間です。



- \*北半球の場合、春夏は表の文字盤、秋冬は裏の文字盤を使います。  
南半球の場合、春夏は裏の文字盤、秋冬は表の文字盤を使います。

